

令和7年9月8日

朝日町立あさひ未来学園整備基本設計・実施設計業務公募型プロポーザル
審査結果報告書

1. 審査結果

1) 受託候補者

受付番号3：株式会社 佐藤総合計画 東北オフィス 評価点 342点

2) 次点候補者

受付番号5：株式会社 本間利雄設計事務所 評価点 327点

2. 参加表明者

7者

3. 審査過程

1) 第1回審査委員会 ～ 事前打合せ ～

日時：令和7年6月17日（火）午後2時00分から午後4時20分まで

内容：整備予定地視察、審査スケジュール、実施要領・評価要領等についての確認を行いました。

2) 第2回審査委員会 ～ 第1次審査 ～

日時：令和7年8月19日（火）午後1時30分から午後4時45分まで

内容：参加者名を伏せた上で審査を行いました。参加表明時に提出いただいた会社概要や業務実績等に関する客観評価の確認及び技術提案書に関する評価を行い、第2次審査への参加を要請する5者を選定しました。

3) 第3回審査委員会 ～ 第2次審査 ～

日時：令和7年9月1日（月）午前9時30分から午後5時40分まで

内容：参加者名を伏せた上で審査を行いました。参加者から技術提案に関するプレゼンテーションを受けるとともに、審査委員会委員によるヒアリングを行い、技術提案書に関する最終評価及び客観評価に関する審議を経て、受託候補者及び次点候補者を選定しました。

4. 審査委員会委員長の講評

1) 受託候補者（評価順位第1位）

受付番号3の提案は、大きな勾配屋根の下に必要な機能をコンパクトにまとめ、建築面積と外壁面積を抑えることによって建設費の縮減を訴えている。また、体育施設を2階に設けたことで1階に生じた大きな空間をピロティとして活用でき、雨天時や冬場のアクティビティを行えることが高い評価を得た。

一方、様々な機能を空間内に立体的に詰め込んだことで、各室内の面積に余裕が無く、空間の自由度に制限が生じることがデメリットになるのではと考えられた。

今後、提案内容の実現にあたっては、体育施設の器具倉庫や、図書室の書庫、教室前のCOMMONスペースなどに必要十分な面積配分の検討が求められるだろう。

2) 次点候補者（評価順位第2位）

受付番号5の提案は、地域開放棟と校舎棟のブロックをL字型の両翼として明確に分離している。また、1年生から9年生までの学生の身体の成長に合わせて、家具や水回りのデザインや高さにきめ細かな設定を行ったことが評価につながった。

一方、校舎棟の周囲にめぐらせた2層の高さの列柱空間に雪が吹き込むことや、過度な列柱が建設費の増加につながることで、教室が駐車場側を向いていることが懸念材料となった。

しかし、応募案の中で唯一、冬の季節風の方向を的確に分析していたことは特筆に値する。

全体として、本プロポーザルに参加した7者はすべて、業務を実施するのに十分な実績と業務体制を有し、今回の公募の基本理念を熟慮した上で提案していることを確認した。さらに第2次審査に進んだ5者は、計画・構造・環境・雪害対策等において、独自のアイデアを提案に盛り込んでいた。どれも魅力がある提案で甲乙がつけ難くはあったが、審査会では評価点の結果はもとより、どの案に対しても建築・デザイン・教育・地域・歴史の観点から議論を重ね、未来の小中学生に対して一番有益であろうと思われる案を選定した。

朝日町の地域と未来と教育と人々について真心を尽くし知恵を絞った参加者の皆様に心から感謝を申し上げます。受託候補者におかれては、朝日町の子供達をはじめ地域の人々に末長く愛される施設を完成させるべく、朝日町および関係各位と協議を進め、今後の設計業務全般を遂行することを期待している。

朝日町立あさひ未来学園整備基本設計・実施設計業務

公募型プロポーザル審査委員会 委員長